

分野：①自然への愛着

「大石北小環境委員会」

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 上尾市立大石北小学校5・6年生35名

所要時間



50分

場所 学校理科室～学校ビオトープ

実施時期

令和3年1月13日

概要

委員会活動、環境委員 35名 先生 3名 今日の委員会活動の流れを説明

- ・ビオトープに集合し、ABの2グループ分けて活動する、ビオトープ内の樹種についての解説と清掃の仕方を説明する
- ・20種ほどの樹木に自分たちで制作した樹木名プレートを固定しました

プログラムの
ねらい

- ・在来樹種と外来樹種を覚える、樹種の特徴を理解する（落葉・針葉樹）
ビオトープ大切さを理解、池・草地・林にはどんな動植物が生息しているか
考えて見る
- ・上尾市内の小学校 22校の内ビオトープがあるのは4校のみ、誇りをもとう

プログラムの内容

1 作業の説明（10分）

樹木名プレートの固定の仕方指導

2 ビオトープと樹種の説明・作業（30分）

希少動植物の説明を行う

- ・池ではメダカ・トンボのヤゴ・ニホンアカガエル
- ・林ではゴマギ・ハンノキ（ミドリシジミの食草）
- ・草地では秋の七草やイカリソウ・カリガネソウ他
- ・ビオトープ内の清掃、最後に樹木にネームプレートを固定し、外の作業は終了する。



受講者の反応

ビオトープ内の希少種については興味がわき、池の中には色々の生き物がいて、草原では今は見られないが、秋の七草が植えられていること、林ではゴマギ、絶滅危惧種の木があるのにはビックリしていました、最後は自分たちが制作した樹木名プレートを固定し満足のような様子でした。

下級生が見てくれたらいいな、の声がありました・・・。



自分たちで制作した樹種名プレートの固定



ビオトープ内の清掃・池にポンプで水入れ